

札幌駅前通まちづくり株式会社への意見書

2024年11月11日

北海道と入植植民地主義を考える「意見箱プロジェクト」

私たちは、北海道内外の大学教員やメディア関係者などから構成される、北海道と入植植民地主義を考える「意見箱プロジェクト」です。

10月5日に「チ・カ・ホ（札幌駅前通地下広場）」6番出入口付近で開催された「アイヌの史実を学ぶ会」主催による「アイヌの史実を学ぼう～！パネル展」に関して、貴社に意見と質問をお送りいたします。

「先住民族って？」と題し、アイヌが先住民族であることを疑う内容の解説や、和人社会への同化政策であり、「保護」の名のもとにアイヌ民族を侮蔑的・差別的に取り扱った旧土人保護法を「至れり尽くせりの旧土人保護法」と説明するなど、「アイヌの史実を学ぼう～！パネル展」は、「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」第四条に抵触するとともに、アイヌ民族への人種差別を助長し、扇動していると我々は考えます。

1日に9万人近くの方が通行する札幌駅前通地下広場において、こうした展示を許可することは、貴社の利用規約に記された「利用の制限」の「①公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認められる場合」に相当すると判断せざるを得ません。また、貴社が「札幌駅前通地下広場の活用コンセプト」として掲げる、「市民による公益的活動の情報発信（発表）の場として活用」という理念とも反しています。

こうしたことが繰り返されることのないよう、利用規約の内容と運用、双方の再検討と更新を貴社に求めます。「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」第四条に抵触する恐れがある企画が利用申請された場合、あるいは実施されてしまった場合、いかなる対応・対策を行うのか、具体的にご教示ください。

2024年12月11日までに、以下のメールアドレスまでご回答をお送りください。いただいた回答は、新聞・雑誌・オンラインメディアなどで紹介する可能性があります。

「意見箱プロジェクト」事務局担当：

横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 専任講師／北海道教育大学 非常勤講師

小田原のどか



賛同者：

小田原のどか（彫刻家・評論家／横浜国立大学講師）

田村かのこ

廣瀬拓音

マユンキキ

縦山智子

山川冬樹（アーティスト／秋田公立美術大学准教授）

山田大揮

渡部宏樹

以上